

ふじみ野市福岡中央公園のボール遊びに ついて考えるワークショップ実施報告書



令和5年8月
ふじみ野市
こども・元気健康部子育て支援課

目 次

I	概要	1
1	実施目的.....	2
2	実施内容.....	2
3	プログラム.....	2
4	ワークショップの流れ.....	3, 4, 5
5	結果概要.....	6, 7, 8, 9
II	実施当日の記録	10
A	グループ.....	11, 12
B	グループ.....	13, 14

I 概要

1 実施目的

ふじみ野市では、公園利用者への危険、周辺住居への迷惑防止及びボールの道路への飛び出しによる事故防止等の理由から、公園でのボール遊びを禁止しています。しかしながら、こどもからは公園でのボール遊びを望む声があると同時にスポーツ庁での調査では、身近な公園でボール遊びが禁止になっていることが豊かなこどもの成長を支えるはずの体力低下につながっているものと定義しています。

このことからふじみ野市では、公園でのボール遊びに関する課題を整理し、ボール遊びをできるようにするためにこどもと大人による話し合いの場として、ワークショップを実施するものです。

2 実施内容

- (1) 日 時 令和5年7月29日(土) 午後1時から午後4時30分まで
- (2) 場 所 ふじみ野市役所本庁舎5階 A大会議室
- (3) 参加者 自治組織関係者(6人) 福岡中央公園を愛し育てる会(1人)
市内小学生(4人)、市内中学生(4人) 職員(7人)

3 プログラム

- (1) 開会
- (2) 市長あいさつ
- (3) ワークショップの説明
- (4) ワーク1「公園でのボール遊びを考える」
- (5) ワーク2「グループの発表内容を考える」
- (6) グループ発表「グループで考えた公園でのボール遊び」
- (7) 御礼
- (8) 閉会

4 ワークショップの流れ

○ ワーク1をはじめる前に「グループ毎に自己紹介とアイスブレイクの実施」

ワークをはじめる前に、グループ毎に参加者のお互いの名前を知り、ワークショップを円滑に行うため、自己紹介とお手玉を使ったアイスブレイクを実施し、コミュニケーションを取りました。



○ ワーク1 「公園でのボール遊びについて考える」

① 「公園でボール遊びができない理由」を記入

個人で考える「公園でボール遊びができない理由」をポストイットに記入します。



② 記入した内容をグループ内で発表し、ホワイトボードや模造紙に貼り付ける

記入した内容をグループ内で発表するとともにポストイットを模造紙やポストイットに貼り付けます。貼り付ける際は、近い意見・内容を集めグルーピングし、整理しながら貼り付けます。



③ 「公園でボール遊びができるようになるための方法」を記入

個人で考える「公園でボール遊びができるようになるための方法」をポストイットに記入します。



④ 記入した内容をグループ内で発表し、ホワイトボードや模造紙に貼り付ける

記入した内容をグループ内で発表するとともにポストイットを模造紙やポストイットに貼り付けます。貼り付ける際は、近い意見・内容を集めグルーピングし、整理しながら貼り付けます。



○ ワーク 2 「グループの発表内容を考える」

⑤ グループの発表内容を考える

グループ毎にまとめた「公園でボール遊びができない理由」や「公園でボール遊びができるようにするための方法」をもとに、発表内容を決定します。併せて、内容を発表する人を決めます。



○ グループ発表

グループ毎にまとめた内容を発表

グループ毎にまとめた内容を発表します。発表後は、もう一つのグループから質問を受けます。



5 結果概要

○ 公園でボール遊びができない理由（抜粋）

A グループ	B グループ
近所迷惑になる可能性がある（オハナなど）	住居に入ってしまう
民家に飛び込むことがある	道路にボールが出てしまう
ボール遊びに夢中になり大声を出す	ボールがはねたときの音が迷惑になってしまう
街灯や自動販売機などに当たり、故障してしまう可能性がある	こどもでも体力差があるので、ボール遊びの種類を制限
ボールの紛失・間違い	年令を自由にするのか
ボール遊びの範囲は？（ラケット・バットなどの使用）	通行人にボールが当たってしまう
こども連れの人が多い→あぶない	遊び場の専用スペースを設け、他公園利用者との交錯を防ぐ
ボールがあたったら危険	忘れ物の増加
木にひっかかったり、さくの中に入ってしまったときにとろうとしたこどもがけがをしてしまう可能性がある	木にボールがひっかかる
通ってる人にあたったらあぶない	ケガをしたときの責任問題をどうするか？
いろいろな年代の人がいる→ケガをさせてしまってもどうすればいいかわからないかもしれない	ルールを守らない人をどうするか？
そもそもボール遊びをしていけないことを知っているの？	人数制限をしないとみんながボール遊びをしたら危ない
時間を分けると不審者の問題がある	利用時間を決める必要有り

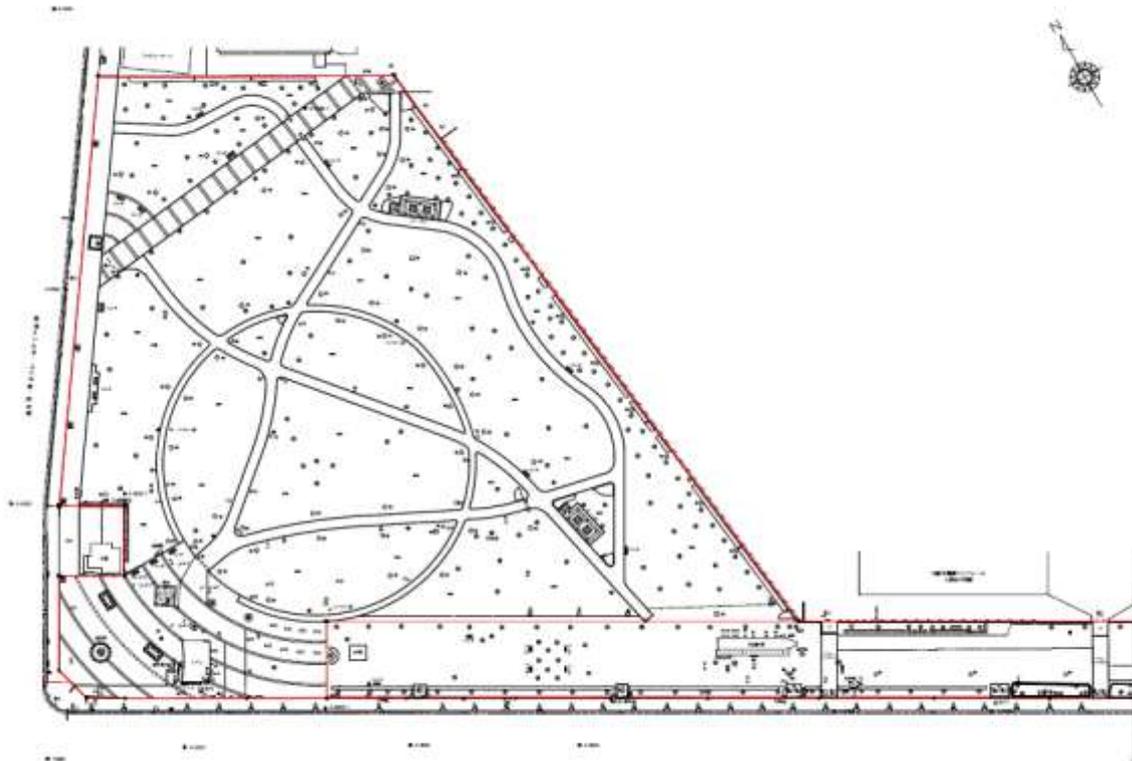
○ 公園でボール遊びができるようにするための方法（抜粋）

A グループ	B グループ
ボールに名前をつける	道路に飛び出ないように工夫する
小学校・中学校のこども達でルール（新しい）を決める	場所を決める
種類を決める→ドッチボールとか	公園の道路側にボールのストッパーになる小さい看板を設置する
やっていいボール遊びの種類を決める	朝早く、夜遅くは使わないようにする
人が通ったら遊びを一時中断するように呼びかけ	大声を出さないルール決め
公園内の道の色分けして皆が分かるようにする	近隣の方に理解を得て広報をしっかりと行う
こども達が現在遊んでいる場所を確保する	やわらかいボールを使ったゾーンとミニバスケットなどができるゾーンに分ける
ボールを使っていい時間を決める	スペースを分けて気にせず遊べるようにする
緊急用の公衆電話をつける	兄弟や親子で遊びたい人もいるので、細かいルールは定めない
交番の向きをかえる	通路での使用は禁止する
大人が小・中学生に教え、中学生は小学生に教え、小学生が中学生になったら小学生に教えるようループ形式をつくっていく	ふじみ野市オリジナルのピストグラムを使用したポスターでの注意喚起
公園の中心部分の円の場所をボール遊びのゾーンとする	個人の自覚に期待するしかない
	場所を分けてボールエリアをつくる
	誰もがこどものボール遊び場が欲しいと願っています
	時間帯を決めて遊ぶ

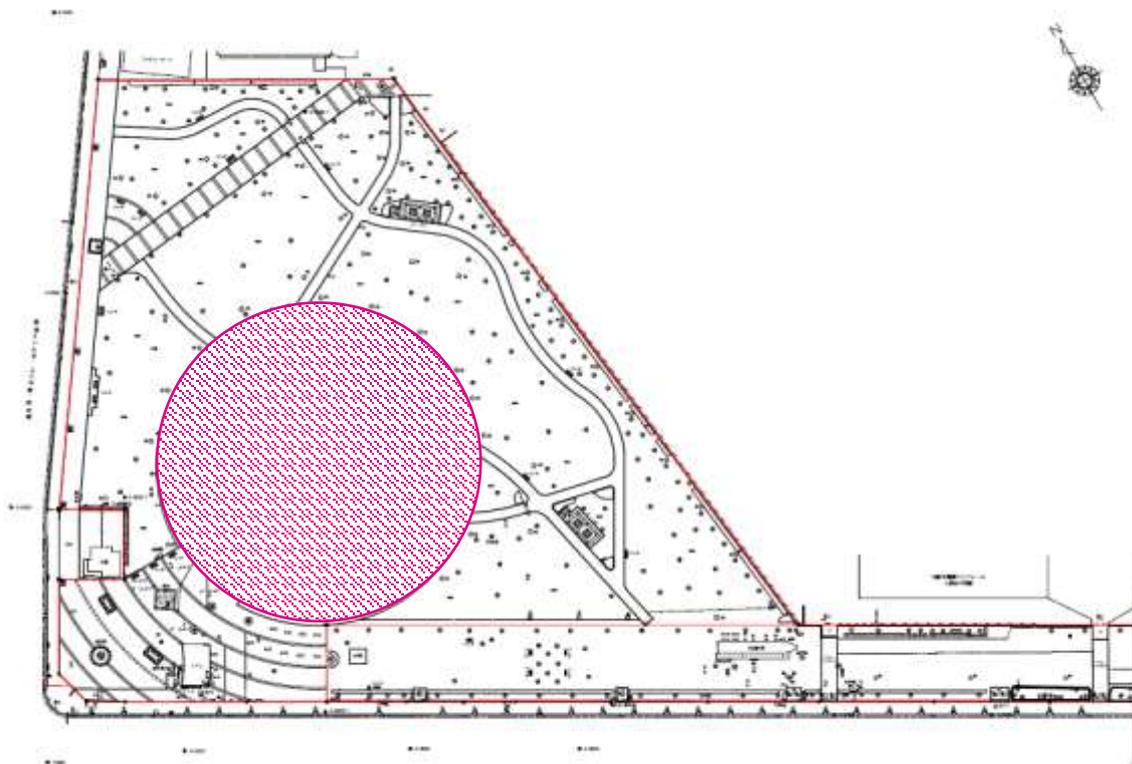
☆ 公園でのボール遊びに関する提案（抜粋）

Aグループ	Bグループ
福岡中央公園芝生広場のエリア提案（次ページ参照）	
公園内の道の色分けして皆が分かるようにする	決めたルールの広報を行う
子どもたちが現在遊んでいる場所を確保する	遊ぶ場のゾーンを分ける
ボールの硬さや種類を小・中学生で決める	時間帯によって利用のすみ分けをする
決めたルールを中学生が分かりやすいように整理し、小学生に教える	見守りも必要であるが最終的には自己責任において遊ぶ
教えられた小学生が中学生になって次の小学生に教える	道路にボールが飛び出さない工夫が必要である
新しいルールの看板、貼紙の作製	住居への配慮が必要である
緊急用の通話システムの構築	
ボールを使っていい時間帯を決める	

〔参考〕 福岡中央公園芝生広場側の図面



★ Aグループ及びBグループによるボール遊びをするゾーンの提案場所



II 実施当日の記録

II 実施当日の記録

〔Aグループ〕 「公園でボール遊びができない理由」 及び 「公園でボール遊びができるようになるための方法」

迷惑系						危険系					
民家に飛び込むことがある	その公園を利用していない人もけがをされるかもしれない	散歩していたり、仕事に行くつもりで公園に行くと、いざというときに迷惑が掛かる	ボールなどで公園の物がこわれるようにするためにそこからはなれている場所	家などからはなれた中心部分	ゾーンを分ける	歩行者が通行出来なくなる	お年寄りの人とぶつかったらあぶない	ボールがあたったら危険	子どもにもボールをおいかけるときに車にぶつからないスペースをとる。(かてい)		
近所迷惑の可能性も出てくる。(オハナなど)	夢中になりすぎて大声を出す	ボール遊びに夢中になり大声を出す	迷惑になる部分から離れる(マンションとか)	できるだけ木や人工物から離れた場所で遊ぶよう呼びかけ	場所を決める		老人が歩けなくなる	ボールが当たるとケガをしてしまう			
ボールを使った遊びの時間を決める	自由に遊べる時間帯を決める	時間を決める	できるだけ民家やコンビニに離れた所でボール遊びをするよう呼びかけ看板など	通路の近くでボールを使うのは避けてもらう	ボール遊びをする場所を決める	色々な人(年齢)が公園にいる	色々な人がいるから気を付けなきゃいけない	子ども連れの人が多い ↓ あぶない			
午前中⇒シニア、赤ちゃん連れ 放課後⇒小中学生	午前中⇒シニア、赤ちゃん連れ 放課後⇒小中学生	交番の向きをかえる	公園内の道を色分けして皆が分かるようにする	今遊んでる場所を確保する	一定の間隔がとれない人出のときは自粛する	いろいろな年代の人がいる ↓ ケガをさせてしまってもどうすればいいかわからないかもしれない	逆にボールをOKしてケガ人がふえるのはダメ	通ってる人に当たったらあぶない	犬などがボールに反応してしまい、思わぬ事故になる可能性がある		
				車などからはなれている中心部	ゾーンの回りにしるしをつける	ボールにあたった人ではなくその近くにいる人にもひびきがおよぶ	街灯や自動販売機などに当たり、故障してしまう可能性がある		ボールが飛びこえないように網を張る		
フリスビーやバドミントンも小さい子どもには危けんかもしれないボールとあまりかわらない	種類を決める → ドッチボールなど	学校でそれについてのじゅぎょうをする	人が通ったら遊びを一時中断するように呼びかけ			二じひ害がおこる	木にひっかかったり、さくの中に入ってしまったときにとろうとした子どもがけがをしてしまう可能性がある	ボールが遠くへ飛ばないようにネットやさくをつくる	さくをつける		
ボールの紛失・間違	やっていいボールあそびのしるしをきめる	ボールを工夫する	教える(かんばんで！)	小学校・中学校の子ども達でルール(新しい)を決める	ボール遊びの種類 持ってきたボールの責任 かたさのルール決め						

なぜボール遊びが禁止されているのか	放置するとまちがって踏むことがある	ボールに名前をつける	自転車のようにもっと大きいかんばんをたてる	ルールを決めるだけではなく紙やかんばんでみんなに知らせる	ちがう人が使わない時間だけにやる	中学生は小学生におしえる 小学生はそれを学び、あそぶときに生かす	新たなルール看板・貼紙 学校で教えてもらう(中学生が教える)
-------------------	-------------------	------------	-----------------------	------------------------------	------------------	-------------------------------------	-----------------------------------

ボール遊びの範囲は？(ラケット・バットなどの使用)	ルールを決めたとしてその徹底方法は？	ルールの周知中央公園は人口が多いので、全てのところにはり紙を設置する	ボールのかたさでスペースを変える	住宅や道路から遠い中心部の辺りはボール遊びをOKなどのエリアを設定する	もし事故をしたらこう番にそうだんする
そもそもボール遊びをしていけないことを知っているのか。	なんでボール遊びだけ禁止なのか！ フリスビーやバドミントンはOK	かたいボールをきんしするなど大事故につながらないようにする			

未来系

公園を利用する人が少なくなって、子どもが公園にこうなくなるかもしれない	公園を見守れるようにする	ベンチでやすんでいる人がいてそこではバドミントンでもできない	1人ひとりが気をつける。	ケガしたらまたそのかいぜんてんについてもかかんがえなくてはいけな	きんきゅう用のこうしゅうでんわ(びょういんかけいさつかしやうほかでえらべる)
学校とかはできるけど、その学校じゃないと入れないやる場所がない		ケガの大きさによってはフリスビーやバドミントンもきんしされるかも	場所を決める	ベンチをふやす	こうしゅう電話をつける必要な電話番号をかく！
中学生でカバー	学校でそれについてのじゅぎやうをする	ボール遊びができる時間・場所を決める			大人→教える小中学生 ループ 中学生→なる小学生→中学生教える

ポストイットの色

黄色：公園でボール遊びができない理由

緑色：公園でボール遊びができるようにするための方法

忘れ物

ポスターを使用して持ち帰りをよびかけ	ボールをなくす	使用した物が置きっぱなしになる	忘れ物の増加	忘ものBOXみたいなをつくる
--------------------	---------	-----------------	--------	----------------

時間

利用時間を決める必要有り <u>こどもと大人</u>	スケジュールを作る	こどもが多く遊ぶ夕方に時間を限定する
-------------------------------	-----------	--------------------

朝・夕方→
大人
他→
こども

木

木に当たってしまう	木にボールがひっかかる
-----------	-------------

公園木々に当たりボールが飛び出し防止対策が必要

人数

人数がおおいときに場所をとってしまったりじゃまになってしまう	人数制限しないとみんながボール遊びしたら危ない	見守る人が必要
--------------------------------	-------------------------	---------

責任管理

あそんでいる時の監視が必要か	ケガをしたときの責任問題をどうするか？	ルールを守らない人をどうするか？	時間帯を決めて遊ぶ
----------------	---------------------	------------------	-----------

乱暴者が(よっぱらい)ボール遊びの邪魔をしたときの対応を決める(ケイサツ)？

シルバーさんをお願いして監視してもらう(指導ではない)

保険に入る(予算とる)

遊びの責任者は？見守りが必要

日時を決めればみまもりの人が可能であるが最終的には自己責任

ポストイットの色

黄色：公園でボール遊びができない理由

緑色：公園でボール遊びができるようにするための方法